

防災意識の向上を高めるような取り組みをしていただきたいことをお願いいたしまして、私の質問を終わります。

議長（倉又 稔君）

以上で、中村議員の質問が終わりました。

次に、吉川慶一議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。〔1番 吉川慶一君登壇〕

1番（吉川慶一君）

おはようございます。

創生クラブの吉川慶一です。よろしくお願いいたします。

1回目の質問をさせていただきます。

1、新潟焼山の火山活動について。

新潟焼山は、ことしに入り小規模な噴火が確認されていると発表されました。昨年末から噴煙量も多くなっており、過去の噴火も視野に入れ、住民への情報発信が必要かと思います。気象庁によると観測では、新潟焼山は火山性地震もやや増加していると言われていますが、市としてどのような対応をされているかお伺いします。

(1) 新潟焼山の火山活動が活発化し、昭和49年の水蒸気噴火と同程度の噴火が起きた場合、素早い情報が必要とされています。市として今後、情報伝達を初め、防災対策をどのようにされるのかお伺いします。

(2) 登山者に対する注意喚起の現状はどのようになっていますか。また、情報の公開はされていますか。

(3) 妙高戸隠連山国立公園に新潟焼山が含まれていますが、現在新潟焼山は登山規制がされています。規制区域外の環境保全や観光振興の公園として、防災対策をどのようにお考えかお伺いします。

2、地域おこし協力隊・集落支援員について。

(1) 地域おこし協力隊について。

地方公共団体が、都会からの転入者を地域おこし協力隊員に委嘱し、隊員は地域特産品の開発等、地域おこしの支援や住民の生活支援など地域協力活動を行いながら、その地域へ定住・定着を図るとあります。全国で多くの地域おこし協力隊の方々活躍されていますが、糸魚川市の地域おこし協力隊の主な地域と、期待される活動についてお伺いします。

どこの地域で活躍されていますか。

具体的にどのような協力活動をされていますか。

(2) 集落支援員について。

集落支援員は、職員と連携し、集落の目配りとして巡回・状況把握を行っており、現在、活動されている集落支援員の皆さんに感謝しております。次のことについてお伺いします。

集落支援員の配置は、いつから実施されているのか、集落との取り組みの現状と今後の課題をお伺いします。

### 3、糸魚川市の子ども一貫教育・行政改革提言に対する保育園の取り組みについて。

#### (1) 子ども一貫教育について。

平成21年度に「子ども一貫教育方針」を策定し、平成22年度から平成27年度までの糸魚川市子ども一貫教育方針を進めてきました。その進められた中、主な成果と課題があらわれました。平成28年度から平成35年度までの新たな計画が策定され、「豊かな心の育成」、「健やかな体の育成」、「確かな学力の育成」の具体的計画が示されました。今後、糸魚川市の一貫教育で目指すものは何か、具体的にお伺いします。

いじめ・不登校が発生しています。糸魚川市の現況をお伺いします。

糸魚川市のいじめ・不登校について、どのような原因の解釈をされていますか。また、いじめ・不登校についてどのような対応をされてきましたか。

#### (2) 行政改革提言に対する保育園の取り組みについて。

平成27年3月に行政改革特別委員会の集約事項として市議会の提言を受け、保育所民営化を計画的に進めるとお聞きしました。以下、お伺いします。

糸魚川市として検討はどこまでされているのか。

他県では地域関係者、保護者と話し合いをして保育園の民営化を積極的に進め、子ども教育、市の財政面において成果を上げています。糸魚川市の今後の取り組みについて、どのようにお考えになられていますか。

以上、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

吉川議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、地域防災計画並びに新潟焼山の噴火活動が活発化した場合の避難計画に基づき、対応してまいります。

また、新潟焼山は、火山防災協議会を初め関係機関と連携をいたしまして、火山防災対策を進めるとともに、防災行政無線などにより市民への情報伝達を図ってまいります。

2点目につきましては、妙高市、小谷村と連携し、それぞれの登山口に立入規制の看板を設置するとともに、ホームページなどにより注意喚起を行っております。

3点目につきましては、妙高戸隠連山国立公園連絡協議会が設立予定であり、当市も協議会に参加する中で、観光利用促進策や環境保全の計画などを検討・実施してまいりたいと考えております。

2番目の1点目の1つ目につきましては、現在2名の隊員が小滝地区と市内全域を対象に、それぞれ活動を行っております。

2つ目につきましては、小滝地区では高浪の池の運営支援や情報発信、パソコン教室の開催や健康教室の運営支援などを行っております。

また、市内全域を対象にした活動では、移住・定住情報の発信や空き家バンクの支援、移住相談会での誘致活動などを行っております。

2点目につきましては、平成25年度から活動を開始し、高齢者宅の巡回を初め、地域行事の運

営支援や話し合い活動への参加など、中山間集落の活性化を支援してまいっております。

今後の課題は、集落支援員が行っているこれらの活動を継続していくことができるよう、担い手を育成することと考えております。

3番目のご質問につきましては、この後、教育長から答弁いたしますのでよろしくお願ひいたします。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願ひ申し上げます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田原教育長。〔教育長 田原秀夫君登壇〕

教育長（田原秀夫君）

吉川議員の3番目のご質問にお答えいたします。

1点目の1つ目につきましては、小中学校のいじめの件数は、平成26年度60件、平成27年度は44件であります。また、不登校件数は、平成26年度23件、平成27年度は32件であります。

2つ目につきましては、いじめの原因は冷やかしゃからかいなど、人とのかかわりの中で、いじめを受ける側の心身の痛みを理解せずに行ってしまうことと考えております。

いじめの対応は、いじめは深刻な人権侵害であることを児童生徒に認識させ、未然防止、早期発見及び早期対応に向けて、全教職員が共通理解を図ってまいります。

次に、不登校の原因は、小学校では家庭に係る状況、中学校では学業の不振、友人関係をめぐる問題が多い状況であります。

不登校の対応は、家庭訪問や教育相談センター内のひすいルーム、学校内の適応指導教室での学習など、児童生徒及び保護者と相談し対応しており、引き続き関係者と連携し取り組んでまいります。

2点目につきましては、保育園・幼稚園の現状や今後の見通しなどを、子ども・子育て会議でご意見を伺いながら検討をしており、平成27年度に改正されました国の子育て支援制度について比較・検証し、今後の方針を定めてまいります。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

2回目の質問をさせていただきます。

新潟焼山が非常に最近、安心、また大変になっております。そこで、私からの感じたことをちょっとお聞きいたします。

6月に入ってから、新潟焼山は噴煙が上がってます。しかし、日々によっては減少傾向もあります。これに対して、市は現地調査をされましたか。過去の噴火の状況をどの程度、把握しているのか、行政では過去の事例を検討・検証をしているとありますが、その結果、そういうことを公表

しておりますかどうかお伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

消防長（大滝正史君）

お答えいたします。

中村議員への市長答弁にもありましたとおり、5月に火山性地震が増加し、その後、減少傾向にあるというところがございます。そのほかの観測データでも大きな変化は見受けられませんが、今後の火山活動の推移に注意が必要であるというふうに考えております。

現地調査につきましては、気象庁、県と連携をいたしまして上空からの調査を実施しており、今後も引き続きまして関係機関と連携し、調査を実施してまいりたいと考えております。

過去の噴火の状況をどの程度把握とか、過去の事例を検討・検証しているのかというところがございますが、火山防災協議会で噴火シナリオを策定する段階で、過去の事例等を検証しております。その噴火シナリオに基づきまして避難計画を作成し、その後、地区の皆さんに説明をさせていただいております。

今後も火山防災協議会に参加いただいております火山の専門家のご意見を伺いながら検討していき、出前講座や防災講演会などを通じまして、住民の皆さんの理解が深まるように努めてまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

なかなか自然なものですから、簡単に見える調査・予測は不可能とも思いますが、これから中村議員が先ほど言いましたが、多少ダブリがあると思いますが聞いていただきたいと思えます。

やはり、過去の噴火のときには相当、調査・研究をいたしました。今、火山の調査研究があるうと思えますが、やはり、実際行ってどの程度か、現地、糸魚川市行政側からもやっぱりどの程度かちゅうことを、行って調査するべきでないかと思うんですがいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

消防長（大滝正史君）

お答えします。

先ほど、上空からの調査と申し上げました。そのときも、私も搭乘させていただきまして、上空から現場を確認させていただいております。ただ、まだ冬期間ということでありまして、なかなか現地のほうには入れないという状況がございました。今後、雪解けが進みまして近くまで行けるといことも含めまして、気象庁の専門家等も含めまして、確認をする必要があるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

お答えいたします。

現地の調査はまだ行っておりませんが、しかし今、非常にあの火山はいつ何どき噴火するかわからない、あの御嶽山の例を見てもそうでしょうし、また普賢岳という、我々のこの記憶にはまだ残っている部分がございます。

そういうような中で、今、非常に観測機器が精度の高くなってる部分がございます。地震の観測機器、また火山性微動などもそれで受け取れるわけでございますし、またGPSで山が膨らんだとかそういったところも全部、その調査をできるわけでありまして。それと、もう1つは、やはり噴煙の量だとかそういったものを全部調査できる状態の中で、今、対応させていただいて、新潟気象台がそれを受け、そして即、我々のところに連絡が来る体制にはなっております。気象庁、または気象台、そういったことも進めておりますし、そういった方々とまた学者の皆様方や、またいろんな関係者等でもって、今、新潟焼山防災協議会を設置をさせていただいておるわけございまして、県と連携をとりながら、今、取り組んでおる状態ございまして、ただ単独に現地を見ればいいということではないだろうと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

当然、今は時代が変わり、機械、観測機器が相当、発達しておるのでわかると思いますが、やはり目視、これもやはり観測、十分必要かと思しますので、参考までにひとつ、お聞き願いたいと思います。

続いて、これを気象庁が、先ほど言われまして、気象庁がいろいろ調査しているし、解析をしていると。この解析しておるところによりますと、火山活動が活発になって、レベルが1から2へ上がる可能性もあると予測しております。こういうことでありますが、市民への情報伝達、情報をどのように市は解釈して広報しますか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

消防長（大滝正史君）

気象庁のほうの分析では、新潟焼山は24時間観測、常時観測の火山であります。

4月、5月に実施した上空からの観測で降灰を確認し、時期は不明でありますけれども、この観測までの間にごく小規模な噴火が複数回発生したのが見られるということ。また、山頂から半径1キロ以内の想定火口内に影響を及ぼすような噴火が発生するおそれがあるので、今後は火山活動の推移に十分注意をしてくださいというような分析をしております。それで、この分析内容というのは、いわゆる噴火警戒レベル1の範囲でありまして、活火山に留意が必要であるという情報発信をしているところであります。噴火警戒レベルを引き上げる場合には気象庁から発表されますので、

関係機関と連携をとり、情報伝達に努めてまいりたいと考えております。

議長（倉又 稔君）

暫時休憩します。

午前 11 時 25 分 休憩

午前 11 時 25 分 開議

議長（倉又 稔君）

休憩を解き会議を開きます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

消防長（大滝正史君）

失礼いたしました。

伝達方法につきましては、市民への方法につきましては、今、定期的に、状況変化がなくても定期的に情報を発信させていただくということで、安心メール、ホームページ等を通じて発信をさせていただいております。

今、現状での情報発信はそのようではありますが、緊急時におきましては当然、防災行政無線、それから緊急速報メール、安心メール等の方法により周知をしてみたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1 番（吉川慶一君）

全く、今、お聞きしたとおりで、市民にやはり不安があるわけで、不安を与えないように広報をしていただきたい、情報を出していただきたいと思います。やはり、地域に住んでおられる方、また登山者等にいろいろ影響がありますし、また観光等にも影響があるかもしれません。精神的負担を十分払拭していただいて、ひとつ情報を出していただきたいと思います。特に一番、地域の方は特に、日々そういうことをお考えでしょうから、ひとつ情報をくまなく出していただきたい。

突然ですが、安心メールから最近、出ましたね。何か、10日ごとに情報を出してくださる、これも1つの方法だと思いますんで、大いに活用していただきたいと思います。

そこで1点、安心メール、みんな、全員が持っておればいいけど、持っておられないわけですから、そういうときにはどうするんだということも、あわせてご検討ください。

こういう情報がいろいろ交差して、正直な情報が、正確な情報が本当にどこでどうなるのかを、これを精査して地域住民に広報していただきたいと思います。いろいろな情報が出てくると思いますが、こういうのをひとつ、正確をもってひとつ、住民に知らせていただきたいと思いますが、先ほどいろんな情報伝達を言うておりましたが、ひとつよろしく願います。

それから続きまして、今現在、焼山にシェルターがあるかと思いますが、この新潟焼山にある

シェルターの増設計画、またヘルメットの整備、登山者への情報伝達、この件についてお伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

消防長（大滝正史君）

火山災害の中で、噴石に対する避難対策は重要度の高いものの1つであり、シェルターは噴石から身を守るために有効な設備であるというふうに認識をしております。国への設置等の要望も行っておりまして、内閣府でも活火山における避難壕などの整備に関する検討がされております。今後、火山防災協議会でも検討する予定となっております。

ヘルメットにつきましては、平成26年10月に、カラサワシェルターと泊岩に各10個ずつ配備をしております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

ぜひ、増設をお願いしていただきたいし、ヘルメットも増設してもらいたいと思っております。

ただ、ここで登山者に情報をどういうふうに伝達するかということと、年間登山者はどれぐらい、今現在、上がっておりますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

消防長（大滝正史君）

登山者への情報伝達は、先ほど申し上げましたけれども、緊急速報メール、また、ヘリコプターからによる上空からの広報などが想定されるわけですが、新潟焼山の状況を事前に周知することも重要と考えております。そのようなことから、登山口への注意喚起の看板設置、それから気象庁、県や市のホームページなどによる周知を、あわせて実施をしておるところでございます。

また、登山者数につきましては、昨年の6月1日からことしの3月末までに430人でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

情報伝達、わかりました。

昨年から430人というのは、これは年間ですが、日々の数値というのはどのようにわかるんですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

消防長（大滝正史君）

この数字のカウントにつきましては、昨年6月1日から登山届の提出を義務づけてございます。それによる数値とご理解いただきたいと思ひます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

届け出をしないで上がる人もいると思ひますが、その辺をどうやって周知するか非常に難しいところがございますが、事故があつてはならんわけですので、ひとつそういうこともご検討いただきたいと思ひます。

先日か、火山噴火予知、石原教授によると噴火体制が整いつつあると言われております。御嶽みたいな同程度の噴火を想定し、火口から2キロ程度の範囲が影響あると言われております。

先ほど、消防長から2キロから3キロと言われてたんですが、市としてはどのようなお考えなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

消防長（大滝正史君）

火山噴火レベルの引き上げにつきましては、気象庁からの発表ということになっております。火口から2キロの影響は、火山噴火警戒レベルで言いますと2というふうになります。関係機関と連携して、対応してまいりたいというふうを考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

ぜひ、ひとつ事故のないようお願いいたします。

もう1点お聞きしますが、専門家によりますと、いろいろお聞きした中で見ますと、今、現実こしばらく見ておると、噴煙が比較のおさまった状態であります。過去にもあるんですが、数カ月後に爆発したと、こういう専門家もおります。これは現実的なことであるのか、継続観測をしてみないとわからないと思ひますが、この強化を具体的にお伺ひしたいと思ひます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

消防長（大滝正史君）

議員、今、言われるところは、昭和49年の噴火時には、今ほどの話にあつたような状況があつ

たというふうに聞いておりますけれども、現実的にあるかどうかという判断は、なかなか難しいところではないかというふうに考えております。

観測体制の強化につきましては、当市からも要望しておりますし、気象庁においても強化する計画で準備を進めていただいているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

補足して、若干説明させていただきますけれども、焼山の活動については、議員ご指摘のとおり非常に活発な状況で、注意を要するという状況であります。ただ、極度に恐れるのではなく、正しく情報を得る中で、十分みんなで注意をしていかなければならないというふうに思っております。

そういう中においては、消防長、先ほどから説明しておりますように、気象庁あるいは国の関係機関で監視をしていただいております。火山性地震の監視だとか、焼山の山体の膨張だとか、そういう機器による監視によって変化をつかみながら、その情報は定期的には市民の皆さんにもお伝えし、先ほど言いましたように、変化があったときにはより注意深く、みんなで警戒態勢をとっていかなければならないというふうに思っております。

そういう中において、今、言いましたように市としても関係機関と連携をして監視をしていきますし、さらに観測体制をより強化していくという取り組みについても、国の関係機関に働きかけをいたしておるところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

先ほども、私、話したように、全く見えませんし予期できないので、こういうことをお聞きしておるわけでございますんで、実際、起こったらもうどうすることもできないわけで、この自然災害はどうすることもできませんので、ひとつ十分な観測体制を強化できるところは強化してくださいと、こういうことでお願いしております。

続きまして、地元への、先ほども出ましたように防災マップの件ですが、防災マップ並びに避難マップの中で、避難訓練それから避難計画の見直し等はございますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

消防長（大滝正史君）

お答えします。

地元へは、出前講座とか住民説明会などを通じまして、情報発信させていただいております。避難マップに基づいた避難訓練の実施も必要と考えておりますし、避難計画につきましても、必要に応じて見直しをしてまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1 番（吉川慶一君）

必要に応じてということですので、ひとつ十分精査してください。

それから、昨年の避難訓練の件で、若干お伺いします。

まず、昨年した避難訓練で、反省並びに問題点を検証できたのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

消防長（大滝正史君）

消防本部、それから市全体も含めまして、地元の皆さんも含めまして検証をしていただいております。そのような中で、地元の方々にしてみれば、避難というところでバスの確保、それから自家用車避難での渋滞、それから平日昼間の若年層が不在時、勤めていないというようなときの避難などが課題ではないかというふうに承知しております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1 番（吉川慶一君）

当然、当たり前のことをお聞きしておるわけですが、やはり訓練を重ねていくのが一番いいわけですが、やはり実際あると、噴火をするとパニックになるし、パニックになれば、ひとり暮らしや弱者に非常に影響が出てまいります。先ほども言うたように、若年者がいなくなった、こういうときにやはりどうするのかと。我々消防隊並びに行政から行けばいいけど、足が引いておるかどうかは全く分らんわけですよ。こういう問題もあるかと思っておりますので、そこで先ほど言いましたように、検証を十分してくださいとお願いしております。

先ほど、消防長が問題点の、バスの問題も言っておりますが、交通事情は十分配慮された中で考えておるわけですか。道路事情、大丈夫なんですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

消防長（大滝正史君）

昨年行いました避難訓練におきまして、初めて糸魚川市の総合体育館、それから大和川小学校へ避難をしていただくということで、市としてもバスを用意したりいたしました。ですが、実際のとときに、それがうまく配置できるかということもございます。また、上早川地区、下早川地区で商売をされておられてマイクロバスをお持ちの方々もいる、そういうところも想定した訓練を実施をさせていただきました。季節的、それから道路事情等によって、状況が非常に変わってくると思います。これらにつきましても、今後さらに検証を深めていく必要があるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1 番（吉川慶一君）

そういうところの配慮を、ひとつお願いいたします。

それに伴いまして、避難場所、経路、こういう非常時の場所の表示はできておるのでしょうか。場所、避難する経路、安全な経路ですよね、こういう場所は表示板等で地元にはできておりますか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

消防長（大滝正史君）

地域防災計画に基づきます避難所の箇所につきましては、表示等はされております。そういう意味でいうと、今、この焼山の避難体制につきましては、検証中という、引き続き必要だというふうに先ほど申し上げましたけれども、そのような中で今後の課題であると。議員がご指摘のように、やはりそういう一時集合場所的なところの表示も必要かなというふうに思っておりますし、また経路につきましても同様でございます。

焼山の災害・防災対策という中では、避難経路というものの表示は設けてはございません。ただ、地区の皆さん方は非常に、当然ながらですが、地区の中を知っておるので、どこへ逃げるかということは訓練なども通じた中で承知をしております。それ以外の方への周知という部分もあるかと思っておりますけれども、今後の検討課題というふうに捉えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1 番（吉川慶一君）

じゃ、関連でお聞きしますが、新潟焼山が噴火したときに地震が予想されると思います。先ほど、全国地震動予測地図が公表されました。地図によると新潟県の確率は、全体で言うておるんですが13%と非常に低いです。さきの熊本地震も、非常に予想が低かったです。

そこで、新潟焼山が噴火した場合、地震の影響で発生率はどの程度と予測されて聞いておりますか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

大滝消防長。〔消防長 大滝正史君登壇〕

消防長（大滝正史君）

議員、今ほど言われたものは、最近公表されたものというふうに受けとめております。それによりますと、前回は2014年だったかと思えます。2年たったの公表であったわけなんですけれども、関係するところでは糸魚川静岡構造線断層帯というところでの表示がございました。非常に北

部・中南部とか3カ所ぐらいに分けて、確か確率が出ていたかというふうに記憶しております。

その中で、当地域に近い北部については、平成14年より平成16年のほうが、若干確率が下がったという公表ではございましたけれども、熊本地震もそうですし、先般の北海道の、きのうの北海道の地震もそうでありますけれども、日本全国どこで地震が発生するかわからないという状況であります。そんな中で、新潟焼山が噴火した場合に、地震への影響というようなところは承知してございません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

ぜひ、調査し対策強化をお願いいたします。

それから、観光面でちょっとお聞きいたしますが、新潟焼山で自然文化、こういう大事なものがあるわけだから、地域住民並びに管理団体はどのような行動で計画しているかお伺いいたしました。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えいたします。

新潟焼山を含みます妙高戸隠連山国立公園、これが新たに設置されたわけでありまして、この設置に伴いまして、環境省のほうでは住民と協働して観光振興、また環境保全をやっていこうという、取り組むような動きがあります。

具体的には、7月にこの連絡協議会を設置することになっております。構成団体は環境省、新潟県、長野県そしてそこにあります6市町村、こういった中で新たにどういったビジョンをやっていくか、そしてここの管理運営はどうしていくかといったことについて、協議を重ねてまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

続いて、現在、噴煙が出ており、先ほども言っておりますが、観光等で影響はどうか。ありますか、ないですか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。

きのうも温泉等の関係者とお話をしておる中では、やはり風評被害らしき、今、キャンセル等が生じているというように聞いております。

しかしながら、現在、噴火レベル、噴火警戒レベル1でございます。1キロメートルだけが入山規制が行われているという状況なので、ここから、例えば早川温泉郷まで何キロある、今現在は特に大きな支障はないといったことを、事実を正確にあらわす中で、観光客の皆さんに、お客さんとしてお越しいただきたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

ぜひ、観光客の方には、正確な情報をしていただいて、風評被害の影響がないようちゅうと、若干語弊があるかもしれませんが、影響が少ないようにひとつお願いしたいと思います。よろしくお願いいいたします。

続きまして、地域おこし協力隊についてお伺いいたします。

地域おこし協力隊についてですが、全国に地域おこし隊が約1,500人以上、活躍されているといえます。県内では、先進といえば十日町、小千谷市であります。糸魚川市がこれを取り組んだ目標、目的はどうでしょうか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

斉藤定住促進課長。〔定住促進課長 斉藤喜代志君登壇〕

定住促進課長（斉藤喜代志君）

お答えいたします。

地域おこし協力隊につきましては、昨年度から取り組ませて配置をさせていただいております。

2名の配置になっておりますが、1名については、小滝地区で特に高浪の池高原交流センターあたりのそういった施設の、要は活性化につながるような、それから小滝地区全体での活性化につながるようなことを目的にということで、配置をさせていただきました。

もう1名につきましては、その当時から人口減少対策ということで事業を行っていきたいというような中で、定住・移住の促進、それらの業務の促進支援をしてもらおうということで、空き家バンクとか、あと移住・定住の情報発信とかそういったことを目的に配置をしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

先ほども言いましたように、本来は定住・定着を目標としておると思っています。ぜひ、糸魚川にもこれが定着するようお願いしたいところですが、現在2名、また追加の予定があるかどうかと思いますが、配置任用は何年なんですか、期間は。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

斉藤定住促進課長。〔定住促進課長 斉藤喜代志君登壇〕

定住促進課長（斉藤喜代志君）

お答えいたします。

基本的には1年契約なんですが、地域おこし協力隊については、総務省の制度としては3年間、最長3年間の任用ということで、我々も1年単位ですが3年間の任用を考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

1年から3年、ぜひ、地域活性をしていただきたいなと思います。この取り組み・活動は大変なことだと思いますが、ひとつこれを頑張ってやって、お願いしたいところがございます。

この隊員の活動状況、今、一生懸命やられているこの活動状況をどのように広報されておるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤定住促進課長。〔定住促進課長 齊藤喜代志君登壇〕

定住促進課長（齊藤喜代志君）

お答えいたします。

協力隊員等の活動状況につきましては、糸魚川市のホームページの中とか、あとブログですね、それぞれ活動地域のブログで活動内容を紹介させていただいております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

ホームページ、ブログ、これはわかりました。

ぜひ、見られる方と見れない方もいらっしゃるんで、広報でひとつ十分やっていただきたいと思います。頑張ってくださいとおるんですが。

それと、この方、隊員の定住・定着、まだ始まったばかりですが、この方はどうでしょうか、先行き見えるでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤定住促進課長。〔定住促進課長 齊藤喜代志君登壇〕

定住促進課長（齊藤喜代志君）

お答えいたします。

まだ、活動して1年ということで、なかなかその辺の今後の見通しというのは、まだ難しいところかなとは思いますが。ただ、ことし、これから1年間を振り返ってのフォローアップをさせていただいて、その中で、この残ったあと2年の活動から、定住へ向けてのプログラムというものを検討していきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1 番（吉川慶一君）

課長はベテランですから、ぜひお願いいたします。

続きまして、集落支援についてお伺いします。全く名前が同じようなんで、私もなかなか解釈ができなくて、間違っただら、ひとつ言っていたきたいと思います。

現在、中山間地の高齢化が進む中、集落を支援する、また地域の課題解決の支援策のために取り入れておるといことですが、公民館や地域を連携しながら地域づくりをしていく地域づくりプランの進行状況はどうでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤定住促進課長。〔定住促進課長 齊藤喜代志君登壇〕

定住促進課長（齊藤喜代志君）

お答えします。

地域づくりプランにつきましては、現在6地区が完成しておりまして、実現活動に取り組んでいるところであります。今、作成中のところが、ようやく始まったところも含めて3地区ございます。ほかにつきましては、今後、また働きかけをしていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1 番（吉川慶一君）

じゃ、今後どんどん進めていただきたいと思います。

この集落支援、今後、増員の計画はございますでしょうか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤定住促進課長。〔定住促進課長 齊藤喜代志君登壇〕

定住促進課長（齊藤喜代志君）

お答えします。

増員の計画は持っております。地域づくりプランが始まるというようなところに、できるだけ支援の手を伸べたいというふうにも考えておりますし、ほかにもまだ、なかなか声に出せない課題等があるような地区もありましたら、我々、そちらについても支援配置をしていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1 番（吉川慶一君）

先ほども言いましたが、地域おこしと同じなんです、この隊員の方を、ぜひ活動、活躍、情報発信をしていただいて、市民の理解をとっていただいて、活動しやすいことになっていただきたいと思います。集落支援の点検や話し合いをしていただいて、糸魚川市の施策にマッチして、ぜひ協力

していただきたいと思います。お願いしておきます。

続きまして、子ども一貫教育について、若干お伺いいたします。

一番目としまして、中学校のいじめ問題が課題になっておりましたが、加害生徒、被害生徒の謝罪会が終わったとお聞きしますが、被害生徒は学校生活を楽しくやっておられますか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

山本こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 山本 修君登壇〕

教育委員会こども教育課長（山本 修君）

お答えいたします。

昨年度、発生いたしました中学１年生の重大事態の件でございましたら、その生徒は今、毎日中学校に登校しております。ですが、保護者の送迎であったり、また、部活もまだ十分にできていないということでもありますので、まだ以前のように教育活動を行っているという状態ではございません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

１番（吉川慶一君）

議長にお願いしたいと思います。お昼の時間が来たんですが、もう二、三点でございますんで、よろしく願いいたします。

じゃ、ぜひそれをまだまだ、道半ばと思いますが、ひとついじめのないような学校にしていきたいし、教育委員会からもしっかり指導していただきたいとお願いするところでございます。やはり、教育委員会だけでは不可能と思いますが、地域住民、学校等と協力しながら学校内のパトロール、こういうものも十分あわせてやっていただきたいということをお願いしておきます。

それから、もう１点でございますが、保育園のことを１点お伺いします。

保育園の問題ですが、待機児童が糸魚川市ではないと聞いておりますが、これでよろしいでしょうか、確認いたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

佐々木教育次長。〔教育次長 佐々木繁雄君登壇〕

教育次長（佐々木繁雄君）

お答えいたします。

保育園の関係の待機児童というものは、今現在、ございませんけれども、３歳未満児保育の需要が非常に多くなってきております。そういう面で、入りたい保育園に入れないというご家庭もございます。その件につきましては、近隣の保育園に行ってくださいというような状況をとっておりますけれども、今後、未満児保育の充実を図るように、また各保育園と協力してまいりたいというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

今、次長が答弁されたとおりで結構です。ぜひ、そういうことも配慮しながら、全員が入れるように配慮をいただきたいと思います。

それに関連して、保育園、幼稚園の保育士の数は、糸魚川は満たされているのでしょうか、数は。糸魚川市の現況というと大変ですが、今現在はどのようにでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

佐々木教育次長。〔教育次長 佐々木繁雄君登壇〕

教育次長（佐々木繁雄君）

お答えいたします。

保育士の充足ということでありまして、現在につきましては、保育士は国の定める状況によって配置をしておりますし、特に公立の保育園につきましては、国の定める基準よりも厚く配置しているというように考えております。

ただ、サービスの面で非常に事細かにやっておられる民営の保育園もございます。そういう点につきましては、やっぱり補助員、補助の保健師、またパートの職員というようなところで苦慮する場合もございますので、そういう面においては、こちらからもいろいろ協力をするなり、配慮してまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1番（吉川慶一君）

最後1点、お願いします。

私の聞るところですが、保育士が子供の保育を担っていただいておりますが、重労働で大変であるというのを伺います。保育士に負担がかかり過ぎていないのか、逆に言えば保育士の希望がないのではないかなと思うんですが、この点どうでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

佐々木教育次長。〔教育次長 佐々木繁雄君登壇〕

教育次長（佐々木繁雄君）

お答えいたします。

議員おっしゃられますように、大変、重労働だというふうには思っておりますし、保護者も非常に保育士にかかる資質の期待をしているというふうに思っております。そういう面に加えて、保育士も大変資質を向上するように、民営も公営も含めて研修会を大変多くやって頑張っております。そういうところで、資質の向上を図るとともに、重労働を少しでもなくすような配慮をしたい

というように思っていますし、国の、今、考えている施策では、保育士の賃金と申しますかそういうものも上げるようにという施策も含めておりますので、多くの方が保育に従事するような環境をつくってまいりたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

吉川議員。

1 番（吉川慶一君）

力強いお言葉もいただきましたんで、若干、私の持ち時間はあるんですが、昼食でございますのでこれで終わります。ありがとうございました。

議長（倉又 稔君）

以上で、吉川議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

関連質問なしと認めます。

ここで昼食時限のため暫時休憩をいたします。

再開を午後 1 時といたします。

午後 0 時 0 6 分 休憩

+

+

午後 1 時 0 0 分 開議

議長（倉又 稔君）

休憩を解き会議を再開いたします。

午前中に引き続き一般質問を行います。

次に、笠原幸江議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

笠原議員。〔2 番 笠原幸江君登壇〕

2 番（笠原幸江君）

創生クラブ、笠原幸江です。

事前に提出いたしました発言通告書に基づき、一般質問をさせていただきます。

柵口温泉「権現荘」の税金の使い方・使われ方について。

平成 2 8 年 3 月定例会において明らかになった柵口温泉「権現荘」の赤字経営の内容が、平成 2 1 年から平成 2 7 年の累積赤字約 1 億円。支配人は、毎年「黒字にします。」と繰り返し言葉にし、一般財源を投入し続けた結果であります。

特に食材の仕入れ割合が地元 4 5 %、市外が 5 5 %、消耗品の仕入れ割合も地元 4 1 . 8 %、市外が 5 8 . 2 % と市外からの購入割合が多く示されています。地元消費促進運動を推進している中